

【資料2】

刈谷市スマートシティ推進協議会
令和6年度課題解決型実証プロジェクト
の選定結果等について



**KARIYA
SMART CITY**

令和6年5月24日

- 1 課題解決型実証プロジェクトの選定結果
 - (1) 実証プロジェクトを募集した課題
 - (2) 応募された企画提案一覧
 - (3) 審査過程、今後の予定
 - (4) 選定結果

- 2 その他の実証プロジェクトの進捗状況
 - (1) 高齢者見守り安心機器の機能拡充のための実証実験
 - (2) 刈谷放課後子育てMaaSプロジェクト
 - (3) 次元を超えたまちデザイン「メタかりチャレンジ」
 - (4) 刈谷スマートウェルネスプロジェクト（救急車 5 G映像伝送）
 - (5) あいちデジタルヘルスプロジェクト



➤ 1 課題解決型実証プロジェクトの選定結果



(1) 実証プロジェクトを募集した課題

□ 4 課題に対する実証プロジェクトを市のHPで募集

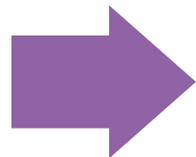
課題名	担当課	概要
大人に響く交通安全	くらし安心課	子ども世代には、学校等教育機関からの指導の機会があるが、大人世代に対しては、 交通安全教育や啓発で行動に変化を与えることが難しく、乱横断、歩きスマホ、危険な自転車の乗り方等の交通ルール違反や危険行為による事故が発生している。 大人世代に対して、 交通安全意識を向上させ、乱横断や危険行為を減らすことで、事故の未然防止 につなげ、安全な交通環境を実現したい。
子どもの見守りサポート強化	子ども課	全国的に子どもの重大事故が毎年発生しており、多くの園を抱える当市も事案発生リスクを抱える。 デジタルを活用して見守る仕組みを実証することで、限られた人員の目視確認を強化し、置き去りや行方不明を予防する確率を高め、安全な園運営を実現したい。 また、近隣市で不審者が園内に侵入する事案が発生したことから、子どもの見守りが手薄な時間帯等、 不審者侵入対策を強化 したい。
保育教諭が働きやすいスマートな保育園・幼稚園の実現	子ども課	指導計画や保育日誌作成、シフト管理など、 保育教諭一人が抱える業務の負担 は大きく、また、午睡チェックなど子どもの異変を日々気にかけるなかでの 精神的な負担 も大きい。現状、 パートタイム職員が不足し、特定の職員に負担が集中 していることもあり、 保育教諭の事務処理の効率化 を行うことで、子どもの見守りやケア充実につなげ、保育の質を高めたい。
バス運行状況とロケーション情報の入手	都市交通課	バスの運行状況を市民へ伝えるため、バスロケーションシステムを導入し、各バス停にスマートフォンでアクセスできるQRコードも掲載しているものの、デジタルデバイドの観点で高齢者には難しく、またそもそも手段として浸透していない。大型サイズのモニタは物理的に設置できないこともあり、 これまでにない技術や仕組み により、市民の誰もが バスの運行情報がスムーズに入手 できるよう、バス利用の際の利便性を向上させたい。

(2) 応募された企画提案一覧 その1

課題名	No	提案名	提案概要
【くらし安心課】 大人に響く交通安全	1	大人世代がデジタルで見直す交通安全「おとな安全チャレンジ」	<ul style="list-style-type: none"> ・メタバースを活用した刈谷市オリジナルの交通安全教育コンテンツを提供。 ・刈谷市危険箇所をメタバース化した仮想空間にて、出発地から目的地まで危険を予測しながら安全に違反なく到着できるか体験することで、楽しみながら学ぶ形で安全意識の向上につなげる。
	2	『大人に響く交通安全』プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・乱横断している人をエッジAIカメラで検知。 ・乱横断者から視認できる位置に設置したサインージディスプレイにリアルタイムの様子を表示し、乱横断をしようとする人を検知するとアラート音が鳴る。
	3	「AIによる危険行為検知&注意喚起」実証プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・AIカメラ、スピーカー、ライトを設置し、危険箇所付近を常時撮影。 ・危険行動（乱横断・自転車逆走）を検知した場合に、音声と光でアラートを発出し、危険行為の抑制とドライバーへの注意喚起を図る。
【子ども課】 子どもの見守りサポート強化	4	「かりやのこどもたちの未来をまもる 安心・安全保育園」実証プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・園児が送信機を、保育士が受信機を携帯し、園児の居場所を検知。 ・園内にも固定型の受信機を設置し、園児や保育士の居場所を可視化することで、園児の効率的な点呼や、危険箇所への侵入がないかチェックできる。
	5	キッズガーディアンプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・園児にキーホルダー（GPS・Bluetooth・QRコード付き）を持たせ、保育士が専用小型機器もしくは携帯アプリから園児との位置・距離を把握。 ・一定距離以上離れて数秒間経過すると、保育士の持つ端末に音や振動で通知され、園児の位置を確認できる。
	6	自律走行による自動撮影ロボ	<ul style="list-style-type: none"> ・自律走行ロボットにて園児の日々の写真を撮影。 ・園内での利用のほか、保護者との連絡帳に使用可能。

(2) 応募された企画提案一覧 その2

課題名	No	提案名	提案概要
【子ども課】 保育教諭が働きやすいスマートな保育園・幼稚園の実現	7	写真振分けアプリ	<ul style="list-style-type: none">・園児の日々の写真を撮影したものを、個人を判別して振り分ける。・園内での利用のほか、保護者との連絡帳に使用可能。
	8	言ってくればあったのにプロジェクト	<ul style="list-style-type: none">・各園において、行事で使用する衣装や小道具など所持している備品の個数を台帳アプリに登録することで、各園の台帳一覧が見られ、園同士での貸し借りが可能。・備品の作製時間が短縮され、保育士の負担軽減や他の作業の時間に充てられ、保育の質向上につながる。
【都市交通課】 バス運行状況とロケーション情報の入手		提案なし	

 提示した 4 課題に対し、応募された提案は **8**

(3) 審査過程、今後の予定

□ 担当課と事務局の審査員により、一次・二次審査を実施

内 容	日 程
(1) 企画提案書提出締切日	令和6年4月22日 (月)
(2) 一次審査 (書類選考)	令和6年4月23日 (火) ~ 4月26日 (金)
(3) 二次審査 (面談)	令和6年5月15日 (水)、16日 (木)
(4) プロジェクトの選定	現在
~ 以下、今後の予定 ~	
(5) 選定結果を市HPで公開、プレスリリース	令和6年5月下旬
(6) 正式契約	令和6年6月下旬
(7) 実証実施	令和6年7月~令和7年2月上旬
(8) 完了報告 (書類提出)	令和7年2月下旬



すべての提案が本市の課題を解決し得るものと評価されたため、**8提案すべて二次審査を実施**



(4) 選定結果

□ 二次審査（面談）の結果、評価の高かった**4提案を選定**

課題名	No	提案名	提案者
【くらし安心課】 大人に響く交通安全	1	大人世代がデジタルで見直す交通安全「おとな安全チャレンジ」	株式会社アイシン
【くらし安心課】 大人に響く交通安全	3	「AIによる危険行為検知&注意喚起」実証プロジェクト	西日本電信電話株式会社
【子ども課】 子どもの見守りサポート強化	5	キッズガーディアンプロジェクト	トヨタ車体株式会社
【子ども課】 保育教諭が働きやすいスマートな 保育園・幼稚園の実現	6 7	自律走行による自動撮影ロボ 写真振分けアプリ	トヨタ車体株式会社

□ 今後、プロジェクトの実施に向けて、市と提案者で各種調整を行い、実証を実施する
⇒令和7年5月下旬開催予定の刈谷市スマートシティ推進協議会で成果報告予定





➤ 2 その他の実証プロジェクトの進捗状況

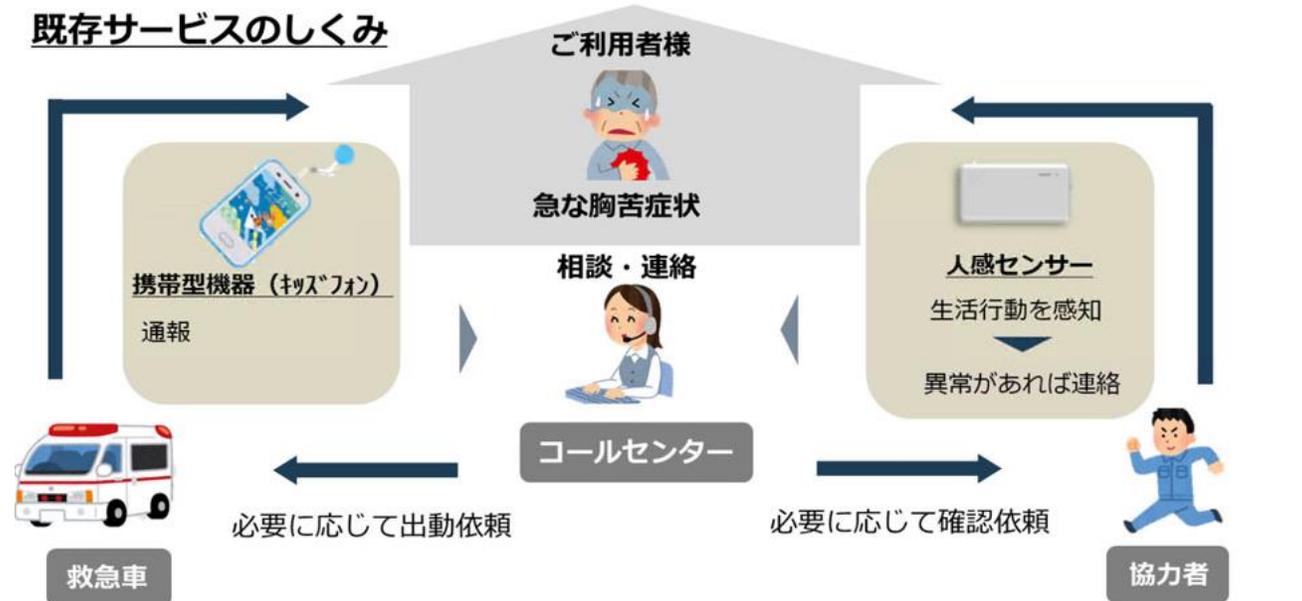


高齢者見守り安心機器の機能拡充



フィールド提供型

実証中



実証概要：人感センサーの反応回数と要介護認定区分等のデータを突合し、相関関係をAI解析。その結果、フレイルなど健康上のリスクを検知し、携帯型機器（キッズフォン）に注意喚起する。高齢者の見守り機能を拡充する取組。

実証期間：R6.2.1～8.31

関係者：

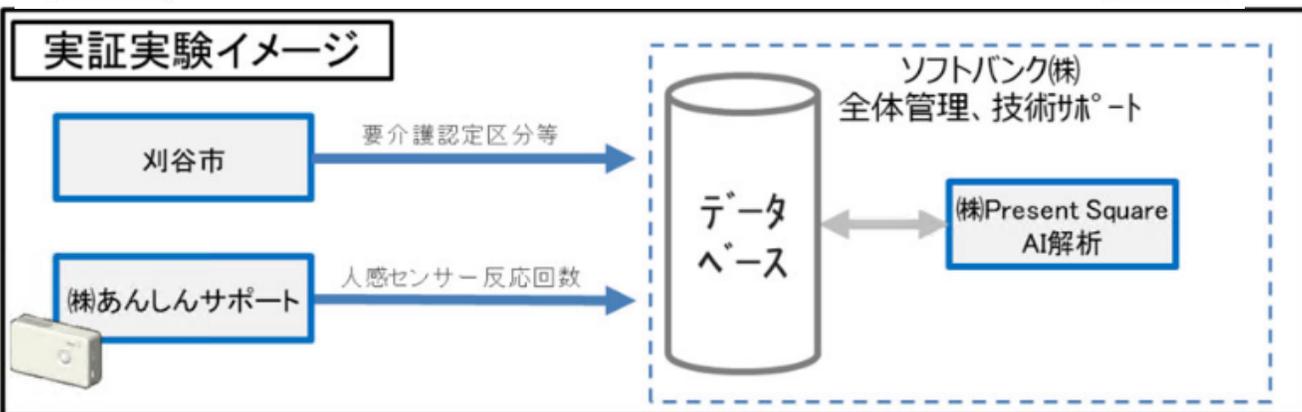
刈谷市長寿課：要介護認定区分等のデータ提供

ソフトバンク：全体管理、技術サポート

あんしんサポート：人感センサー反応回数データの提供、終了後のサービス企画

Present Square：AI解析

実証実験イメージ



刈谷放課後子育てMaaSプロジェクト

国・県プロジェクト

国土交通省 令和6年度
共創・MaaS実証プロジェクト 採択

実証期間：R6.11～R7.1（予定）
実証場所：刈谷市中部
2～3の放課後児童クラブ
関係者：
刈谷市：全体調整
アイシン：事業の全体運営、
システム開発・運用保守
刈谷交通：子どもタクシー運行
中央コンサルタンツ：事業計画の支援、
各種調査・効果検証

AISIN
We Touch the Future

支援システム

プラットフォーム

一気通貫のシステム

システム提供

- ・予約
- ・マッチング
- ・最適配車 など

利用者サイト



- イベント
- ・登録
- ・予約
- ・変更
- 見守り

集合

放課後児童クラブ

2～3の放課後児童クラブ



つながりステーション

刈谷市中部



習い事先

刈谷市内の習い事先



ご自宅

ご自宅までの送迎




刈交
刈谷交通株式会社

 中央コンサルタンツ株式会社

次元を超えたまちデザイン「メタかりチャレンジ」

実証イメージ



国・県プロジェクト

愛知県 令和6年度
スマートシティモデル事業
応募中

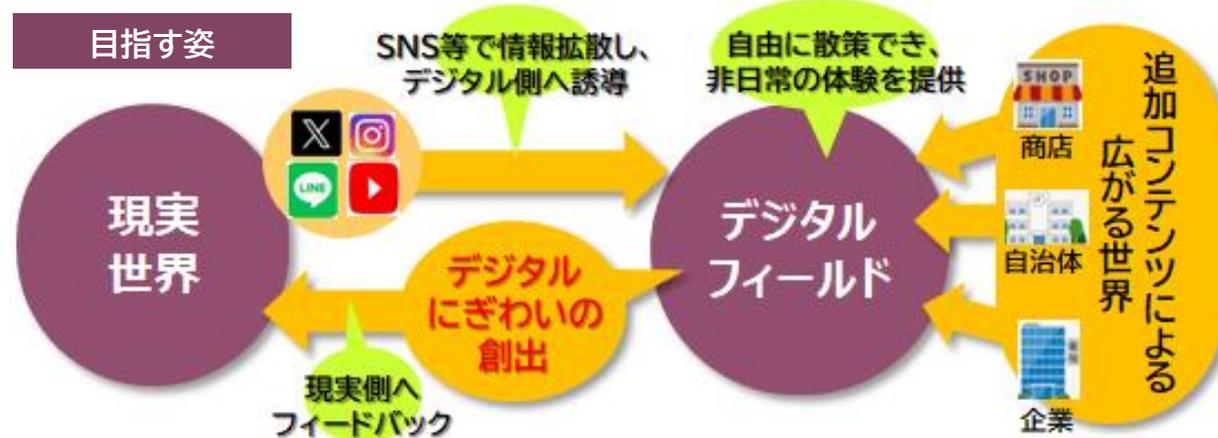
キーワード「にぎわい」

- 刈谷駅 = 飲み屋街のイメージの「にぎわい」
- 話題性・継続性が高い**新しい「にぎわい」**にチャレンジ！

実証期間：2月まで
実証場所：デジタルフィールド

関係者：
刈谷市：デジタルワークショップの開催
アイシン：デジタルフィールドの提供、サポート

目指す姿



刈谷スマートウェルネスプロジェクト（救急車 5 G映像伝送）



国・県プロジェクト

愛知県 令和6年度
元気な愛知の市町村づくり補助金
応募中

これまでの経緯

- 〔R4〕 刈谷スマートウェルネスプロジェクト（愛知県スマートシティモデル事業採択）
刈谷豊田総合病院 **ドクターカー1台**にて**実証**
- 〔R5〕 刈谷豊田総合病院 **ドクターカー1台**に本格導入（**社会実装**）
- 〔R6〕 **救急車4台**にて**実証**（横展開）

実証期間：未定（数か月程度）
実証場所：刈谷消防署、北分署、南分署
刈谷豊田総合病院

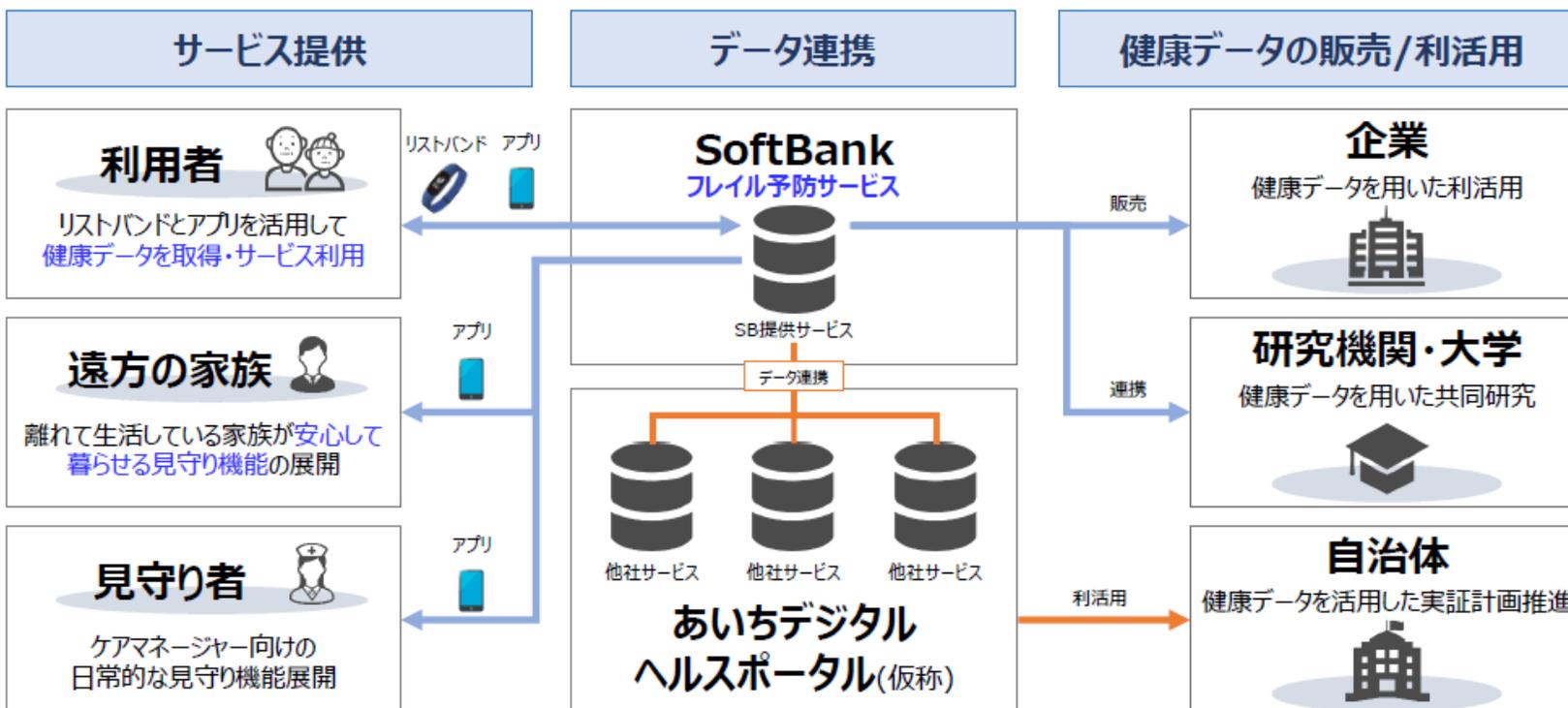
関係者：
刈谷市企画政策課：全体調整
衣浦東部広域連合：救急車4台のフィールド実証
豊田会：救急患者受入れのフィールド実証
NTTコミュニケーションズ：映像伝送システム

あいちデジタルヘルスプロジェクト

- 令和5年9月、あいちデジタルヘルスコンソーシアム設立。刈谷市も会員となる。
- コンソーシアムは、令和6年度から7つのプロジェクトをスタート。
うち1つ「**ライフログデータを活用した総合的な高齢者支援**」に刈谷市も参画。
- プロジェクトを5年間継続し、価値の高い健康データをより効果的に利活用。

令和6年度の取組

プロジェクト全体の概念図



実証内容：○ライフログデータの取得・可視化



- ・バイタル（脈拍数、血圧など）
- ・メンタル（感情、ストレスなど）
- ・睡眠情報 etc.



- ・アンケートデータ
- ・睡眠満足度
- ・コミュニケーション量 etc.

- フレイル判定
- リスク検知アラート
- 家族へ情報シェア（見守り機能）

実証期間：約1か月

対象：高齢者（プレフレイル）、その家族

関係者

愛知県：コンソーシアム運営、データ連携基盤
 ソフトバンク：フレイル予防サービス
 大府市、刈谷市：フィールド提供
 国立長寿医療研究センター：アドバイザー

スマートシティ構想の推進体制／エコシステム

会員企業の皆様とともに、『新たなプロジェクト化』を推進する。

